

TSUDOI

スタンダードプラン 月次分析レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

TSUDOIで集計・分析する、複数の有名格付け機関によるスコア評価

◆『狙い目：中堅銘柄』発掘ガイド

仮想通貨業界全体のトレンド銘柄分析

◆『大穴：新規銘柄』発掘ガイド

VC出資先分析に基づく、注目新規銘柄情報、CMC新規リスト銘柄分析

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。



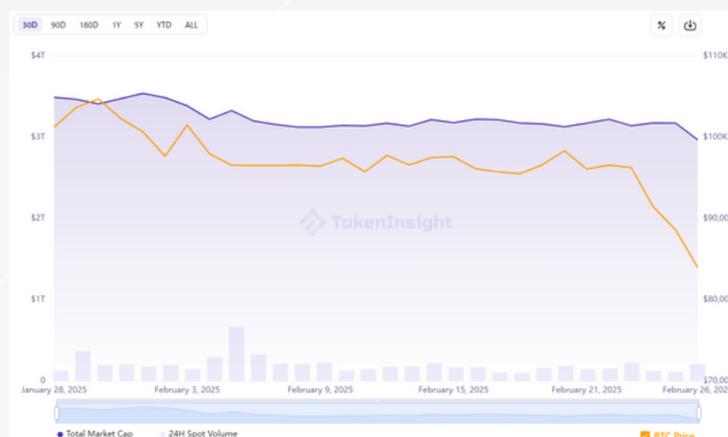
有料
レポート

2025年1月末～2025年2月末 仮想通貨業界市場動向

◆ 業界全体の時価総額 推移

2025年1月28日から2月26日にかけての仮想通貨市場は、短期的な調整色が強まっております。数値としては、1月30日の時価総額は約508兆円（3.41兆ドル）でしたが、2月26日には約443兆円（2.97兆ドル）を記録しています。

また、基軸通貨であるビットコイン（BTC）の価格動向は、1BTCあたり104,734.29ドルから83,997.85ドルと推移しており、**-19.79%の下落**が見られました。右図coinglassの情報によると、2025年2月27日時点で、ビットコイン（BTC）は月間下落率が**-16.51%**に落ちており、2月は下落基調で終わる見込みです。



Bitcoin Monthly returns

※TokenInsight調べ

Time	January	February	March	April	May	June	July	August	September	October	November	December
2025	+9.29%	-16.51%										
2024	+0.62%	+43.05%	+16.81%	-14.76%	+11.07%	-6.96%	+2.95%	-8.6%	+7.29%	+10.76%	+37.29%	-2.80%
2023	+39.63%	+0.03%	+22.96%	+2.81%	-6.98%	+11.98%	-4.02%	-11.29%	+3.91%	+28.52%	+8.81%	+12.18%
2022	-16.68%	+12.21%	+5.39%	-17.3%	-15.6%	-37.28%	+16.8%	-13.88%	-3.12%	+5.56%	-16.23%	-3.99%
2021	+14.51%	+36.78%	+29.84%	-1.98%	-35.31%	-5.95%	+18.19%	+13.8%	-7.03%	+39.93%	-7.31%	-18.9%
2020	+29.95%	-8.6%	-24.92%	+34.26%	+9.51%	-3.18%	+24.03%	+2.83%	-7.51%	+27.7%	+42.95%	+46.92%
2019	-8.58%	+11.14%	-7.05%	+34.36%	+52.38%	+26.67%	-6.59%	-4.6%	-13.38%	+10.17%	-17.27%	-5.15%
2018	-25.41%	+0.47%	-32.85%	+33.43%	-18.99%	-14.62%	+20.96%	-9.27%	-5.58%	-3.83%	-36.57%	-5.15%
2017	-0.04%	+23.07%	-9.05%	+32.71%	+52.71%	+10.45%	+17.92%	+65.32%	-7.44%	+47.81%	+53.48%	+38.89%
2016	-14.83%	+20.08%	-5.35%	+7.27%	+18.78%	+27.14%	-7.67%	-7.49%	+6.04%	+14.71%	+5.42%	+30.8%
2015	-33.05%	+18.43%	-4.38%	-3.46%	-3.17%	+15.19%	+8.2%	-18.67%	+2.35%	+33.49%	+19.27%	+13.83%

※coinglass調べ

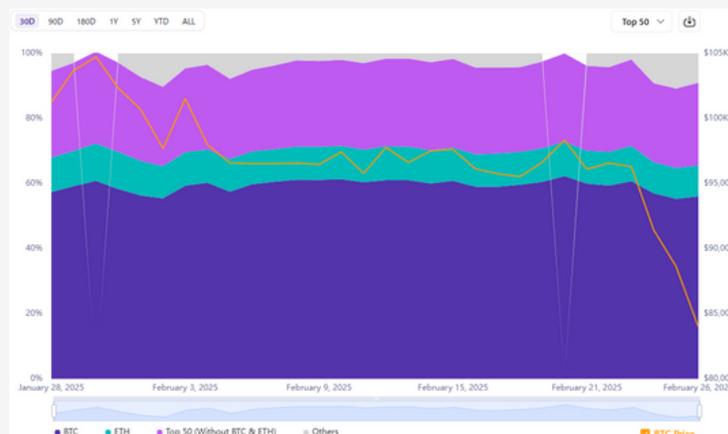
◆ ドミナンス推移

2025年1月28日から2月26日までの仮想通貨市場におけるBTC、ETH、Top 50(BTCとETHを除く)、その他の通貨(Top 50以降)の市場支配率の推移を要約します。

ビットコイン（BTC）の市場支配率は、1月28日に57.42%から始まり、2月20日には今月の最高値となる**62.29%へと上昇**。また、BTCÐを除くTOP50位のアルトコインの数字は、2月25日に**10.77%へと上昇**が記録されています。

2月時点で、ETHの市場占有率は約9～11%と推移を記録。また、50位以降の小型アルトコインにも一時的に10%超の流入が2度見られましたが、**先月と比較すると小型アルトコインへの資金流入はやや縮小傾向にあり、投資家がリスク分散よりも大型通貨への集中を選好した**ことがうかがえます。

全体的には短期的な下落基調が顕在化している一方で、**主要銘柄が相対的に資金を吸収し、支配率を引き上げている現状は、投資家が依然として先行きの不透明感を意識しながらも、「より安全」と見なされる通貨を中心に様子を見ている状況**を示していると考えられます。



日付	BTC市場割合	ETH市場割合	Top 10市場割合 BTC & ETHを除く	その他
2025-1-28	57.42%	10.61%	26.62%	5.36%
2025-2-20	62.29%	10.55%	27.17%	0.01%
2025-2-25	55.32%	9.47%	24.44%	10.77%
2025-2-26	56.06%	9.45%	25.47%	9.02%

※TokenInsight調べ

※大幅な変動がある場合、取得データの遅延や不一致がある可能性があります。

GOODマーク付き銘柄 2025年 2月集計結果

トップ銘柄 分析ガイド 2/28

一般に、BTCの価格が下がる際には、アルトコインはBTCよりも大きく値下がりすることが多いです。これはアルトコインのリスクが高いことを意味します。しかし、市場が上昇する時には、アルトコインはBTCを上回る値上がりを見せることがあります。このため、BTCが下落している時にアルトコインのパフォーマンスを月単位で評価すると、成績が悪く見えることがあります。

2月1週目~2月3週目までの週次レポートにて選定された9つのTOP銘柄の中から6つのTOP銘柄にGoodマークを付与いたしました。

※この評価は、基本的に毎週金曜日に配信される週次レポート作成時または、月次レポート作成時に、過去に配信された銘柄の価格動向を記録した情報を基に行われます。銘柄の中では、同じ銘柄が含まれていることがあります。

今月は1カ月を通して、**BTC価格**がおよそ**-16.51%下落**しており、9つのTOP銘柄の選定を行い**6銘柄にGoodマークを付与**しております。結果として3銘柄が**価格高騰**を経験し、**3銘柄がBTC価格の推移よりも高パフォーマンス**を出しています。

TSUDO I分析レポート マーク銘柄一覧

レポート 配信日付	プロジェクト	上昇率	レポート 配信日付	プロジェクト	上昇率
2/7	 Hedera	-0.68%	2/14	 Litecoin	4.43% 
2/7	 MANTRA	43.11% 	2/21	 XRP	-4.28%
2/14	 Cardano	-0.92%	2/21	 MANTRA	15.09% 

『★』マークは、同時期のBTC価格の増減と比べ高いパフォーマンスを出していた銘柄に付与しています。

GOODマーク付き銘柄 2025年 2月集計結果

『狙い目：中堅・大穴：新規銘柄』 発掘ガイド 2/28

2月1週目～2月3週目までの週次レポートにて、9つの狙い目：中堅銘柄、2つの大穴：新規銘柄を詳細に分析しました。

※この評価は、毎週金曜日に配信される週次レポート作成時、または月次レポート作成時に、過去に配信された銘柄の価格動向を記録した情報を基に行われます。

『狙い目：中堅』に掲載した銘柄9つ、『大穴：新規銘柄』に掲載した2銘柄の中から、TSUDOIチームでは2銘柄ほど中長期的な成長の可能性があるを持つと判断し『👍』を付与しております。また、2銘柄中1銘柄が、BTC価格の推移よりも高パフォーマンスを出しております。

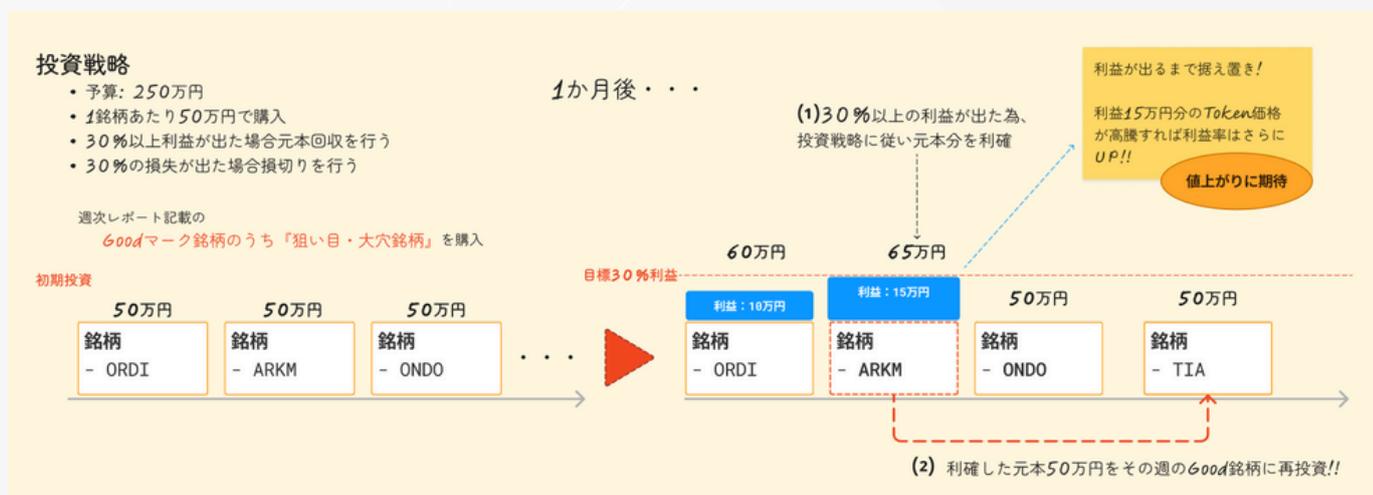
レポート 配信日付	プロジェクト	上昇率
2/7	 Ethena	-8.93%
2/21	 Pyth Network	0.25% ★

『★』マークは、同時期のBTC価格の増減と比べ高いパフォーマンスを出していた銘柄に付与しています。

GOODマーク付き銘柄 有効的な投資戦略紹介

下記シミュレーションは、週次分析レポート発行日に『👍』マークを付与した狙い目銘柄、大穴銘柄を下記投資戦略に基づき50万円ずつ購入＆売却を繰り返し、決められた元本内で再投資を行うシミュレーションとなります。下記のように投資戦略上のルールを作成し投資をすることも、リスク管理と効率的な資産運用を実現する手法の一つとしてご覧ください。

投資条件の概要



※予算はご自身で設定していただき、資産を分割し5銘柄分の投資ができるよう調整していただければと思います。

2023年11月から始めた場合

投資実績：利回り 35.61%(元本を含めない利益)

- 投資期間: 2023年11月～2025年2月
 - 利益: 890,372円 (損切りによる損失: 2,850,000円)
 - 利回り: 35.61%(元本を含めない利益)
 - 利確された銘柄数: 通算23銘柄
 - 損切りされた銘柄数: 通算19銘柄
- 過去の投資銘柄
 - ORDI, Celestia, Blur, Arkham, Terra Classic, Ethereum Name Service, Xai, Manta Network, Ondo, Starknet, Manta Network, Metis, Arkham, Omni Network, Merlin Chain, BounceBit, Taiko, io.net, zkSync, Manta Network, LayerZero, FET, MANTRA, Ondo, Ondo, Aerodrome Finance, Ondo, Jupiter, Ethena, Ethereum Name Service, Worldcoin, Taiko, Raydium, Ondo, SaucerSwap, Ondo, Morpho, Origin Protocol, Virtuals Protocol, Hyperliquid, DeepBook Protocol, ai16z, Arcana Network, Raydium, Ethena, Pyth Network
- 現在元本投資中の銘柄
 - Ondo, Hyperliquid, Ethena, Pyth Network

2月週次レポート掲載 TOP銘柄 継続分析ガイド

トップ銘柄 分析ガイド 2/28

この分析ガイドでは、2月の週次レポートにて記載された価格が急上昇したTOP銘柄に焦点を当てています。それぞれの銘柄について、レポート掲載時から月末までの時価総額ランキングの推移や、複数の海外格付けサイトの情報を基にしたTSUDOI独自の評価を紹介しています。これらの通貨は、100点満点での信頼性スコアとして、下記一覧の右側に記載されています。

TSUDOI週次分析レポート掲載銘柄一覧

※2024年9月より評価方法を一部変更しており先月と数値がこととなっております。

配信日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	直近30日間の値上がり率	トークン価格 (2/28現在)	スコア (2/26現在)
2/7	#17→#19	 Hedera 👍	Layer1	▼32.99%	¥30.32	67.63(-0.36)
2/7	#25→#21	 MANTRA 👍	RWA	▲66.44%	¥1,106.07	-
2/7	#48→#52	 Arbitrum	Layer2	▼29.87%	¥62.93	69.44(-0.05)
2/14	#9→#9	 Cardano 👍	Layer1	▼31.12%	¥95.24	65.31(±0)
2/14	#17→#12	 Litecoin 👍	PoW	▲11.82%	¥18,607.75	56.53(+0.33)
2/14	#25→#27	 Uniswap	DEX	▼31.36%	¥1,165.84	72.75(-0.14)
2/21	#3→#4	 XRP 👍	Payment	▼29.34%	¥325.07	70.33(-0.62)
2/21	#22→#21	 MANTRA 👍	RWA	▲66.44%	¥1,106.07	-
2/21	#48→#46	 Sonic	platform	▲50.53%	¥102.99	63.55(+0.22)

月次レポート及び、週次レポートの使い方について

今月の週次レポートにおけるGoodマークが付与されたTOP銘柄にて、これらの銘柄が、**なぜ話題を集めているかを月次及び週次レポートの考察をご覧ください、投資家の皆様がより深く理解するための分析情報として**レポートを配信させていただいております。

トップ銘柄 スコア調査ガイド

スコア調査ガイドでは、海外の様々な格付けサイトから情報を集めて、TOP銘柄を評価しています。これらの格付けサイトは、プロジェクトの進行計画と現状、トークンの経済的側面、プロジェクトチーム、ビジネスパートナーや投資家、エコシステムの成長、トークンの市場パフォーマンス、技術基盤とセキュリティ、全体的な市場での成績、技術の採用状況など、多面的な観点からの情報を提供しています。

TSUDOIのスコアは、これらのサイトから収集した情報を元に、各プロジェクトの全体的な強みとリスクを評価し、100点満点でスコアを付けます。このスコアを前月のデータと比較し、総合的な評価を行っています。**※2024年9月より評価方法を一部変更しており先月と数値がことなっております。**

スコアの読み方

トップ銘柄の仮想通貨は、このスコアが安定しており、**4点以上の大きな変動がある場合は、そのプロジェクトの健全性を再評価する指標**として使っていただければと考えています。

2月の時価総額TOP50銘柄の本スコア推移

上記の基準にて2月の調査を行ったところ、今月に入り**+4以上スコアが上昇**した銘柄、**-4以上のスコア**を落とした銘柄ともにありませんでした。

オンチェーン&オフチェーン分析ガイド

Goodマークが付与されたトップ銘柄の中で、特に特徴的なデータが確認できたものについて、直近1ヶ月間のTVL、ステーキング、Xフォロワーの増減など、さまざまなデータをもとに分析・考察した情報をご提供しています。

MANTRA : OM

OMは直近1カ月で対BTC比75.03%上昇し、トークン価格(前月比+63.31%)TVL(前月比+11.73%)・ステーキング総額(前月比+77.56%)も同様に成長。また、Xのフォロワー(前月比+33.38%)が大幅に伸びており注目度がうかがえます。今月は1週目と3週目で注目銘柄としてGoodマークを付与しており、継続的な話題性を持っている銘柄となるでしょう。上記のように**好調な成長指標とコミュニティの盛り上がりを活かし、意義のあるパートナーシップや実用的な機能を確認すれば、価格と信用が相乗効果を起こし、持続的な成長が期待される**でしょう。

その他、今月Goodマークを付与した銘柄のうち、**XRPとEthenaは、トークン価格が下落する中、ネットワークの成長指標として用いられるTVLが前月比+で着地**していることから、この相場でも力強い動きをしていることが分かります。

2月週次レポート掲載 中堅銘柄 継続分析ガイド

『狙い目：中堅銘柄』 発掘ガイド 2/28

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）の時価総額ランキング50～400位に位置する『狙い目：中堅銘柄』に焦点をあてた情報を提供するものです。週次レポートに記載いたしましたCMCサイト内、検索トレンド中堅銘柄に関する月末時点での経過調査となります。

週次 検索トレンドの経過調査一覧

作成日2/28

配信日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	直近1カ月の トークン価格上昇率
2/7	#54→#61	 Ethena 	Stablecoin Protocol	▼37.84%
2/7	#77→#116	 Onyxcoin	Layer1	▼45.63%
2/7	#93→#112	 Pudgy Penguins	Collectibles & NFTs	▼48.65%
2/14	#85→#98	 Pancake Swap	DEX	▲8.74%
2/14	#232→#169	 Alchemy Pay	Payment	▼1.09%
2/14	#242→#283	 SwftCoin	Cross-Chain	▼29.03%
2/21	#60→#62	 XDC Network	RWA	▼25.52%
2/21	#85→#58	 Story	Layer1	▲104.29%
2/21	#87→#82	 Pyth Network 	Oracles	▼20.92%

上記『狙い目：中堅銘柄』に関する最新のトークン価格への影響が予想される話題についての調査結果をPick Up!!

Ethena : ENA

注目ポイント：Pendle提携とAptos統合でEthenaが流動性と成長を加速

Pendleとの提携により、EthenaはPendleプロトコルを通じてUSDeの利回り商品化と報酬設計を強化し、高利回りを求めるユーザーや流動性が集まりやすくなることが期待されます。現在Pendle上で「eUSDe/USDe」プールが新設され、Ethenaが近日公開予定の分散型取引所Etherealの流動性ブートストラップ施策となることが期待されます。また、Aptos統合では新興L1チェーン上でもステーブルコイン利用が可能となり、さらなるユーザ拡大とエコシステム発展が期待されており、両施策はユースケース拡大とコミュニティ活性化を後押しし、プロトコルの価値向上に大きく寄与する好材料です。

Pyth Network : PYTH

注目ポイント：大手取引所リスティング& Grayscale参入で急伸するPYTH

直近、Pyth NetworkはCoinbaseやRobinhoodなどへのリスティングが相次ぎ、市場での流動性と認知度を急速に高めています。投資家はPYTHを入手しやすくなり、エコシステム拡大が見込まれます。さらにGrayscaleがPYTH連動の投資商品を新設し、規制環境下での間接投資が可能に。これにより機関資本も流入し、Pythのオラクルプロトコルとしての地位は一層強固になると期待されています。

有名VCによる 資金調達最新情報分析

『大穴：新規銘柄』 発掘ガイド 2/28

2025年1月30日～2月28日までの期間において、仮想通貨業界における大手ベンチャーキャピタル(VC)の出資実績を詳細に調査し、大穴：新規銘柄を分析します。

今月の主な業界の資金調達プロジェクト数は42社となり、大手VCからの出資を受けたプロジェクトは7社となります。下記は、大手VCから出資を受けた銘柄の中でTSUDOIスタッフが注目する3つのプロジェクトとなります。

※大手VCについては投資資金の大きいTOP20を対象としております。

プロジェクト名	カテゴリー	調達ラウンド	金額	大手VC一覧	融資日	注目度 (3点満点中の評価)
 Soter	Platform	シリーズA	--	Galaxy BrevanHowardDigital Token Bay Capital etc...	2025年 2/14	事業モデル メンバー ★☆(1.5) ★★☆(2.5)
 Mevvy	Infrastructure	シードラウンド	\$2.80M	a16zcrypto Blockchain Capital etc...	2025年 1/30	事業モデル メンバー ★★(2.0) ★☆(1.5)
 Mansa Finance	DeFi	シードラウンド	\$10.00M	Tether PolymorphicCapital etc...	2025年 2/19	事業モデル メンバー ★★☆(2.5) ★★★(3.0)

2月の資金調達事情について

今月のブロックチェーン業界では、資金調達総額が執筆現在5億960万ドル（約761億円）を記録。1月の6億1,738万ドル（約961億円）と比較すると減少傾向ですが、特定の分野への投資は依然として活発に行われています。

2月の投資比率では、Others（34.1%）が最も高く、次いでDeFi（29.5%）、Infrastructure（20.5%）、Web3（9.1%）、CeFi（4.5%）と続きます。DeFiとインフラストラクチャーは引き続き主要な投資対象であり、基盤技術や新たな金融システムの強化に注力する動きが見られます。資金調達額は1月より落ち着いたものの、分野ごとの成長戦略は継続されており、長期的な市場拡大を視野に入れた動きが続いています。

Soter

分野：Platform

◆ トークン未発行

Soter
 RAISED:
TBD
 Series A Round
 Soter Insure is a provider of institutional-grade insurance solutions for the Web3 ecosystem.

LED BY **galaxy**
 PARTICIPATION FROM
 BREVAN HOWARD DIGITAL
 TOKEN BAY CAPITAL
Karatage
 cryptorank

CryptoRank.io/Funding-Rounds CryptoRank_VCs CryptoRank_Fundraising

01. 概要 Web3保険でリスクを管理する『Soter』

Soter Insureは、Web3分野の急成長により保険が不足する現状を改善するために設立されました。機関投資家と個人投資家の信頼と安全を守るため、内部リスク、資産損失、スマートコントラクト障害など分散型技術由来のリスクを補償する保険商品（D&O、E&O、盗難・詐欺、技術専門職、スラッシング、スマートコントラクト障害保険等）を提供し、Web3企業のリスク管理と安全運営を支援します。

02. 運営メンバー

Founder兼CEO：Henson Orser氏、規制業務ディレクター：Lucian Crisan氏

Henson Orser氏は、2023年にはドバイ政府公認の仮想資産規制機関であるVirtual Asset Regulatory Authority（VARA）のCEOを務め、仮想資産業界の規制整備を主導しました。さらに、機関投資家向けの大手カストディ企業Komainuの暫定CEOとして、デジタル資産のカストディ事業を牽引。金融業界では野村証券においてグローバルマーケット部門の要職を歴任し、また英国の大手金融機関RBSでは米ドル金利セールス部門の責任者を務めました。金融・規制・デジタル資産の分野で豊富な経験を持ち、Web3市場のリスク管理を支える重要な存在です。また、Lucian Crisan氏はPwCで7年8カ月にわたり、監査・コンプライアンス分野で実務経験を積み、特にフィンテック領域の規制対応に強みを持つSoterの中核メンバーです。

リサーチ担当のコメント

事業モデル ★☆(1.5)

今後必要になっていく業界のインフラ分野としてWeb3保険の需要は増加傾向にあり、Soterの包括的なカバレッジは注目されています。しかし、暗号資産やスマートコントラクトのリスク評価には未知数な要素が多く、適切な保険料設定や規制上の整合性を確立するには時間と資金が必要です。さらに、契約範囲の複雑さや国際的な法規制の差異も導入障壁となり、大規模展開には慎重なアプローチが求められるでしょう。

メンバー ★★☆(2.5)

Henson Orser氏はVARAのCEOやKomainuの社長兼暫定CEOなど、金融・規制・デジタル資産分野で豊富な経験を築いてきました。そのリーダーシップは評価される一方、保険事業の新規参入には専門チームの強化やグローバルな規制調整が不可欠です。今後、グローバルなメンバー拡充や戦略パートナーとの連携が、Soterの成長を左右する鍵となるでしょう。

Mevvy

分野：Infrastructure

◆トークン未発行

LED BY **Multicooin Capital**

PARTICIPATION FROM **Ch. 1** **Selini** **GSR**
MODULAR CAPITAL **Borderless**
NASCENT **Hypersphere**

ANGELS **Nathan Allman** **Bruno F** **Bede Schubert**
Georgios Vlachos **Guy Young** **TN Lee**

RAISED: **\$2.8M**
Seed Round

Mevvy enables seamless MEV on any chain, reducing the barrier of entry for searchers to quickly tap into new opportunities.

CryptoRank.io/Funding-Rounds CryptoRank_VCS CryptoRank_Fundraising cryptorank

01. 概要 ブロックチェーン取引の最適化を図る『Mevvy』

Mevvyは、ブロックチェーン取引における手数料計算のような複雑な仕組みを、直感的でシンプルな操作に変換することで、誰でも簡単にMEV（最大抽出可能価値）を活用できる環境を提供するプラットフォームです。Mevvyは、どのブロックチェーン上でも、取引の順番を工夫することで通常の取引では得られない追加利益（MEV）を簡単に実行できる環境を提供します。従来、複雑な計算や高い参入障壁で一般ユーザーが活用しにくかったですが、本事業では誰もがMEVのメリットを享受できる環境を目指しています。

02. 運営メンバー

Founder兼CEO：Garen Smith氏

Garen Smith氏は、Mevvyの創業者であり、遺伝子工学のバックグラウンドを持つ異色の経歴の持ち主です。2017年から仮想通貨業界にフルタイムで従事し、ブロックチェーン技術やMEV分野で豊富な経験を積んできました。Mevvyの創業前には、Seiネットワーク上の流動性ステーキングプロトコルプロジェクトのSilo Staking立ち上げにも関与し、同プロジェクトの創設者としても活動。技術と実践の両面から、ブロックチェーン市場の発展に貢献しています。

リサーチ担当のコメント

事業モデル ★★(2.0)

本プラットフォームは、ブロックチェーン取引に伴う複雑な手数料計算やMEV抽出の仕組みを扱うため、非常に高い技術力が必要です。市場拡大を期待できる分野である一方、実際の採用事例の蓄積や利用者教育、パートナー連携の実績が現状不足している点が懸念材料となる。今後の戦略実行が成否を分ける鍵となります。

メンバー ★☆(1.5)

コアメンバーは、技術と実践経験に裏打ちされたGaren Smith氏を筆頭とし、Silo Stakingなどでの実績が評価できます。ただし専門性は高いが、業界内ネットワークやマーケティング、経営戦略の経験が不足している点が懸念され、外部連携と組織力の補完が、今後の事業成長の鍵となりそうです。

Mansa Finance

分野：DeFi

◆トークン未発行

MANSA Finance fundraising poster. The poster features the MANSA logo (a stylized 'M' with a dollar sign) and the text 'MANSA'. Below the logo, it says 'RAISED: \$3M' and 'Pre-seed'. A description states: 'MANSA is a global fintech innovator in cross-border payments.' The poster lists 'LED BY' as Tether and Polymorphic Capital, and 'PARTICIPATION FROM' as Octerra and Trive. FacultyGroup is also mentioned. At the bottom, there are links to CryptoRank.io/Funding-Rounds, CryptoRank_VCs, and CryptoRank_Fundraising, along with the cryptorank logo.

01. 概要 新興国送金を変革するMANSA

MANSA Financeは、ドバイに本拠を置くフィンテックスタートアップで、ステーブルコインを活用した国際送金向けの流動性プラットフォームを提供しています。ステーブルコインを活用することで、銀行を介さずにリアルタイム決済と低コスト化を実現。多国籍企業や送金事業者を対象に資金ニーズと流動性をマッチングし、透明性の高い金融インフラを提供します。世界でも送金手数料(平均6~8%以上)が高いアフリカやアジアなど新興市場を中心に事業を拡大しています。国際送金コスト削減と資金アクセス拡充に注力し、グローバルな金融包摂を推進する構想を掲げています。

02. 運営メンバー

Mouloukou Sanoh氏 (CEO) は、Forbes 30 Under 30 (2023)にも選出されており、投資銀行やVCでの豊富な経験を持ち、アフリカ最大級のWeb3企業を共同創業した実績を持つ。Nkiru Uwaje氏 (COO) はSWIFTなどで事業運営を率き、新興国にも精通。Fela Bankole氏 (法務・コンプライアンス責任者) は、HSBCやフランクリン・テンブルトンなどグローバル銀行で15年以上の経験を積み、AML/KYCを強化。Victor Schubert氏 (財務責任者) は為替管理やクオンツ取引の知見で流動性とリスクの両面を管理。多彩な経歴をもつコアチームがMANSAを強固に支える。

リサーチ担当のコメント

事業モデル ★★☆(2.5)

MANSA Financeの事業モデルはRWAとDeFiを結び付け、新興市場で短期資金を求める企業と投資家を橋渡しする点が魅力。一方、請求書やリース資産など現実資産の信用力に依存するリスクや規制面の不確実性が残ります。事業モデルの持続性には金融実務とブロックチェーン双方で信頼を得られる体制構築と、国際規制や市場変動に適切対応できるかが鍵となります。

メンバー ★★★(3.0)

コアメンバーは伝統金融とTechの経験を持ち、新興国での事業推進力が魅力。投資銀行やSWIFTなど大手金融機関の実務やWeb3起業経験により、資金調達や法規制対応も円滑に行える可能性が高いです。また、ステーブルコイン発行元であるTether社との関係も強固となることも好材料となります。今後は新興国特有の規制や政治リスクへの理解が不可欠で、調査・交渉力も問われる。

2月週次レポート掲載 新規銘柄 継続分析ガイド

『大穴：新規銘柄』発掘ガイド 2/28

2025年2月1日から2月28日までの期間において、CMCで新規リストされ、時価総額ランク50位以下の『大穴：新規銘柄』の月末時点での経過調査となります。

CMC新規リスト銘柄

配信日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリ	時価総額	トークン価格 (掲載~2/28比較)
2/7	#77→#76	 Berachain	Layer1	¥127,689,875,918	¥1,186.84 ▼2.48%
2/14	#260→#256	 Solayer	Layer1	¥24,547,474,085	¥117.17 ▼11.33%

Berachain : BERA

注目ポイント：Polaris統合で流動性大幅拡充、開発環境も充実

2025年2月27日、[Berachainに自律型流動性プロトコル「Polaris」が統合され、Sky Ecosystemの75億ドル規模のUSD資金活用でネットワーク全体の流動性と投資家の信頼が向上](#)。加えてコミュニティ主導のインデックス基盤「Envio」が本番ネットワーク対応を開始し、高速でカスタマイズ可能なデータ取得が可能に。これら施策により、DApp開発効率とエコシステムの拡大が期待されます。

Solayer : LAYER

注目ポイント：エコシステムの安定成長と市場評価を維持するSolayer

Solayerは、2025年2月20日~27日の期間において大きなアップデートこそなかったものの、エコシステムの安定運営、強力なパートナーシップ、トークンの健全な市場推移を維持し、引き続き成長の軌道に乗っています。特に、エアドロップ後も価格が大きく崩れなかった点が市場で評価され、「Solanaリスティングの中心プロジェクト」としての地位を確立しつつあるといえるでしょう。

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：<https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp：<https://www.coincarp.com/>
- Messari：<https://messari.io/>
- TokenInsight：<https://tokeninsight.com/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。

レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト：<https://tsudo i-platform.co.jp/>